# 2014年度 経営学部 基本科目 教育課程表 (2006~2013年度入学者に適用)

表(1)

	1年					2年						3年						4年				<b>仅</b> (1)
	1セメ.	1セメスター 2セメスター			3セメ	スター		4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター		8セメスター		卒業要件	
	授業科目	単位 担任	E者 授業科目	単位	立 担任者	授業科目	単位 担任者				担任者	授業科目	単位 担任者		授業科目 単位 担任者		授業科目 単位 担任者		授業科目 単位 担任者		単112数	
様科	授	単位 担任 2 2 3 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	E者 授業科目 FYS(基礎演習 石 基礎演習 キャリア形成 リーダーシップ	単位 ) 2 論 ×2	立 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3		単位 担 1 1 1 1 5適用) 1	4 4		単位: 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				担任者 1 1 1 1								8以上
健康科学科目		1 竹刀	腰健康科学		1 竹腰																	2

## 【備考】

印は,必修科目を示す。

1は,スタディー・アブロードプログラム認定科目 印は,いずれか1科目を履修すること

× 印は、いずれか1科目を履修すること × 印は、いずれか1科目を履修すること 3は2011年度以降入学者から適用。2010年度以前の入学者は「朝鮮語 ~ 」。 4は2011年度以降入学者から適用。2010年度以前の入学者は「上級朝鮮語 ~ 」。

### 2014年度 経営学部 基本科目 教育課程表 (2006~2013年度入学者に適用)

#### 〔履修要件〕

- 1 1年次及び2年次は、原則として上位年次の授業科目は履修できない。
- 2 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 3 外国語科目の履修については,次の通りとする。
- (1)日本語を母語とする者は、日本語を除く7外国語のうち1外国語を、1年次前期に4単位及び1年次後期に4単位、履修しなければならない。
- (2)日本語以外の言語を母語とする者は,日本語を1年次前期に4単位及び1年次後期に4単位,履修しなければならない。ただし,能力検定試験等で一定水準以上の日本語能力を有すると認められた場合は,母語及び日本語以外の6外国語のうち,1外国語を履修することができる。
- (3)英語についてはプレイスメントテストの結果にもとづき,「基礎英語」,「初級英語」,「中級英語」,「上級英語」のいずれかの履修科目が指定される。
- (4)「SA外国語」は,海外に中・長期留学する者のみ履修することができる。
- (5)「選択英語(中級)」の履修は,「中級英語」のレベルの学生を対象とする。従って「中級英語」の単位を修得した者,およびプレイスメントテストの結果が「中級英語」と判定された者のみ履修することができる。
- (6)「選択英語(上級)」は、「上級英語」の単位を修得した者のみ履修することができる。
- 4 年間の履修単位数は、基本科目及び専攻科目をあわせて44単位を上限とし、半期の履修単位数は31単位を上限とする。ただし、資格教育課程(教職課程等)の科目は履修制限の枠外とする。なお、前学期の成績優良者(教職関係科目を除き、前学期の修得科目全素点平均85点以上、または履修登録科目全素点80点以上の者)は、半期6単位、年間12単位まで履修単位数の制限を超えて履修登録することができる。この場合は、学期開始当初に学部長に申請しなければならない。

#### [基本科目卒業要件単位数]

- 1 基本科目の卒業要件単位数は,以下の通りである。
- (1)基礎科目については,定められた履修要件に従って8単位以上修得しなければならない。
- (2)外国語科目については,定められた履修要件に従って8単位以上修得しなければならない。
- (3)健康科学科目については,2単位修得しなければならない。
- 2 基礎科目の「卒業要件単位数」を超える単位は、専攻科目の選択科目に算入することができる。
- 3 外国語科目の「卒業要件単位数」を超える単位は、専攻科目の選択科目に算入することができる。